

## 「電動モビリティ地域共創コンソーシアム」が設立されました！

今年4月、飯豊町に電動モビリティシステム専門職大学が開学しました。自動車のEV化の動きが加速する中、世界をリードする研究開発及び人材育成の拠点ができたことは山形県にとって大きな強みとなるものであり、産業人材の育成・確保はもとより、企業との共同研究や共同開発によるイノベーションの創出、県内企業の技術力向上、さらには、若者の県内定着や地域の活性化など、様々な分野での貢献が期待されます。

飯豊町、山形県、電動モビリティシステム専門職大学の三者は、電動モビリティシステム専門職大学と地域の企業や住民との交流と連携の場を創出し、地域の人材の育成と産学官金民による新たなモビリティ関連産業の創造を促進するため、

令和5年6月9日に「電動モビリティ地域共創コンソーシアム」を設立しました。

急速な人口減少社会が到来し、地域の担い手確保や、環境負荷の低減、交通弱者の移動手段の確保など、持続可能な地域づくりが待ったなしの課題となっています。今後は、企業・団体に広くコンソーシアムへの参加を呼びかけながら、本県産業の付加価値向上、地域活性化、若者の地元定着につなげ、地域共創の輪を広げていきます。



### 電動モビリティシステム専門職大学 (通称 モビリティ大学)のご紹介

- ・令和5年4月、飯豊町に電動モビリティシステム専門職大学が開学しました。
- ・「電気自動車」と「自動運転」を4年間で集中して学び研究を行う世界初の大学です。
- ・1学年の定員40名に対して、専任教員23名、非常勤講師20名の手厚い教育がなされます。
- ・講義と関連付けた豊富な実験、実習を通じて開発現場を支えけん引するエンジニアを養成します。



### 「モビリティ大学オープンキャンパス」と「いいでEVフェスティバル」のお知らせ

8月4日(金)、26日(土)の2日間、同大学でオープンキャンパスが開催されます。また8月4日(金)、5日(土)、26日(土)は「いいでEVフェスティバル」も同時開催されます。

多彩なイベントも予定されていますので、お出かけになってみてはいかがでしょうか。

詳しい情報は  
モビリティ大学  
HPから！▼



■ 地域産業経済課 産業振興担当 ☎ 0238-26-6092

#### 目次

##### ・トピックス

電動モビリティ地域共創コンソーシアム設立 …01

川西ダリヤ園オープン …02

産地研究室だより

「農泊品質評価支援制度」認証について

「白川の水の道」探検隊への出前講座 …03

##### ・事業報告

地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業

新規就農者等研修・相談会の開催

高校生を対象とした建設工事現場見学会 …04

国道287号線米沢長井道路の整備状況について

高校生マーケティングプロジェクト参加者募集中！

山形おきたま伝統野菜を使ったレシピ募集中！

##### ・お知らせ

PRO WiND 023ブラボー！吹奏楽アンサンブル …05

廃棄物適正処理・3R推進ポスターを募集します！

フードドライブを実施します

健康増進普及月間について …06

赤ちゃんほっと♡ステーションの開設

自殺予防週間について

夏の省エネの取組みについて

#### 置賜総合支庁ニュース8月号

発行元：山形県置賜総合支庁/Vol.189



HP



総合支庁ニュースは  
県HPでも公開中！

Twitter



置賜総合支庁  
Twitterも活動中！

豪雨災害を乗り越えて、今年も650品種10万本のダリアが咲き誇ります

昨年、開園から1週間も経たないうちに、咲き始めたダリアが豪雨被害で泥をかぶったり球根が流されたりして、一時休園した川西町のダリヤ園。関係者の努力が実り、1か月半後に再開しましたが、一部被災箇所が残るなど、被害は甚大でした。

今年は、全面復旧の上、例年どおり8月1日からオープンします！

災害から約1年、ダリヤ園までのメインアクセス道路が復旧しました。

園内は、大小様々かつカラフルに咲く花々があふれ、魅力的なフォトスポットとして写真撮影に最適です。

開花状況などの最新情報はSNS (Facebook Instagram) からチェックできます。

ぜひ、川西ダリヤ園へお越しください。



■ 地域産業経済課観光振興室 観光振興担当 ☎ 0238-26-6046



産地研究室だより

～夏の暑さに負けず、収量アップ！アルストロメリアの自動ミストを活用した省力低コストな飽差(ほうさ)管理技術の開発について～

置賜地域は、花色が豊富で日持ち性が優れるアルストロメリアの切り花の全国的な産地です。アルストロメリアは年間を通じて出荷が可能ですが、夏期に収量が減少するため、その対策として、当室で令和3～5年まで取り組んでいる「低コストで簡易な飽差\*管理による省力・生産性向上技術の開発」についてご紹介します。

この取り組みでは、比較的安価で設置が簡便なミスト噴霧装置をハウス内に設置し、6～9月に温度条件に応じて自動でミスト噴霧を行うことによる温度、湿度、飽差の値の変化と収量及び品質への影響を調査しています。令和3～4年度までの研究で、気温と飽差が低下し、収量増加並びに品質向上が実証されています。令和5年度までの3か年の研究で新たなスマート農業技術として、現場で活用できる成果を出すのが目標です。

※飽差(ほうさ)とは  
1m<sup>3</sup>の空気中に含むことができる水蒸気の数値のことです。適正な値を維持することで気孔の開きが大きくなり、二酸化炭素が多く取り込まれ、光合成が促進されることから農作物での収量増加が期待されます。

■ 農業技術普及課産地研究室 花き担当 ☎ 0238-47-2115



調査品種「ペルーガ」



アルストロメリアの試験ハウス内の様子 (頭上2mの高さから自動でミストを噴霧)

農家民宿の魅力アップを目指してー「農泊品質評価支援制度」全国で2例目となる認証ー



授賞式の様子

■ 地域産業経済課観光振興室 観光振興担当 ☎ 0238-26-6098

置賜地域の農家民宿など8軒(山形県全体で11軒)が、(一社)日本ファームステイ協会が実施する「農泊品質評価支援制度」で優れた品質の宿として認証を受けました。

認証を受けた施設は、若松屋(米沢市)、いいで白川荘、いろり、庄太郎、ごえもん、いからし新家、あえる村、中村(以上飯豊町)。

「農泊品質評価支援制度」は、格付けや選別ではなく、「品質の底上げ」を目指し、宿や農泊地域全体のレベルアップを支援していく制度で、客観的基準に基づき品質評価・認証を行うことにより、旅行者に安全・安心を提供するといった効果も期待されます。

農家民宿で、置賜ならではの食事・体験などを楽しんでみてはいかがでしょうか？

ござっておごやえ！  
置賜の農家民宿は  
こちらから



## 「白川の水の道」探検隊～小学生が農業用水の役割について学びました～

農村計画課及び農村整備課では、**農業用水やそれを支える農業用施設の役割について県民の理解を深めるため出前講座を実施しています。**

6月16日(金)には、白川土地改良区が主催した「白川の水の道」探検隊の一部として出前講座を開催しました。探検隊に参加した川西町の大塚小学校4年生13名は、ダムや頭首工(河川から農業用水を用水路へ引き入れるための施設)などの農業用施設から流れる水の道をたどりながら、農業用水の役割について学びました。



長瀬頭首工(飯豊町)を見学



紙芝居を使って農業用水の大切さを説明

児童からは、「自分たちが普段食べているお茶碗1杯分のお米には、たくさんの水が使われていると知りビックリした」との感想もあり、普段の生活に欠かせない水の大切さについて理解を深めていました。

■ 農村計画課 企画担当 ☎ 0238-26-6056

## ～ストップ農作物被害～「地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業」研修会を実施しました

イノシシやクマ等の鳥獣による農作物被害を防止し、**地域を挙げて総合的な鳥獣被害対策を行う「地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業」**。この度、令和5年度モデル地区の一つ「長井市西根地区」で第1回研修会を実施しました。

地区住民及び関係者17名が参加し、外部アドバイザー江成はるか氏の講義により、イノシシ等の生態や被害対策の知識を習得した後、実際に集落を点検し、鳥獣の侵入経路や田畑周辺に投棄された家庭ごみの確認、畑に設置された電気柵の稼働状況等を確認しました。

7月29日(土)の第2回研修会では、酷暑の中地域住民と協力し、実際に電気柵を設置しました。

■ 農業振興課 地域農政担当 ☎ 0238-26-6049



▲集落を点検後、集落環境の問題点を地図上に記載し、鳥獣対策の状況を地域内で共有しました。



## ～新たに農業を始める人を地域でサポートします！～

新たに農業を始める新規就農者が置賜地域でも増えていることから、その定着を支援するため、**就農希望者や就農から5年程度までの方を対象とした研修会を7月25日に開催しました。**

市町別相談会では、就農に当たり参加者が直面している問題や悩みに対して、地域の農業士や市町、JA等がアドバイスをしました。長年農業に取り組んできた先輩農業者の言葉はとても頼もしく、自分の他にも農業を始める仲間がいることを知り励みになったとの感想がありました。



相談会の様子

今後も新規就農者の農業経営が軌道に乗るよう、地域で協力しサポートします。お気軽に御相談ください。



講演の様子

■ 農業技術普及課 経営企画担当 ☎ 0238-57-3411

## 建設業の魅力発信！－高校生を対象とした建設工事現場見学会－

建設業界の将来を担う若手技術者の就業促進と地元定着を目的に、県立米沢工業高等学校の1年生51名を対象とした(一社)山形県建設業協会米沢支部主催の「建設工事現場見学会」が6月23日に開催されました。この見学会は置賜総合支庁が支援し、毎年開催されています。



当日は置賜地域4箇所の工事現場等を見学し、実際の仕事内容や活用している建設技術、建設業の重要性などを学んでもらいました。

そのうちの一つである一般国道287号米沢川西バイパス道路改良工事現場では、ICT建機※の操作も体験しました。生徒たちからは「初めて建設機械に乗り、とても興味がわいた」などの声があり、工事現場の実態を見て、聞いて、触れて、実りある見学会となりました。今後も同様の機会を設け、建設業の魅力を発信してまいります。

※ICT建機…3次元の設計データを取り込むことで動作を自動制御・補助する建設機械

■ 建設総務課 技術調整担当 ☎ 0238-26-6099

## 国道287号 米沢長井道路～つながる、道。ひろがる未来。～

国道287号米沢長井道路は米沢市窪田町と長井市泉を結ぶ延長19.4kmの主要幹線道路です。

現在、米沢市窪田町～川西町西大塚で、南から米沢北バイパス2.8km、米沢川西バイパス4.0km、川西バイパス5.7km(Ⅰ期区間2.9km、Ⅱ期区間2.8km)の合計延長12.5kmで、軟弱地盤対策や舗装などの工事を行っています。

米沢北バイパス(国道121号～県道大塚米沢線)と川西バイパスのⅠ期区間(県道高畠川西線～川西町西大塚の供用済み部)については、今年度内の開通を目標に施工を進めています。地域の皆様には引き続きご理解ご協力をお願いします。

■ 道路計画課 道路・高規格整備担当 ☎ 0238-26-6078

### 米沢長井道路を整備する目的

- ・新潟山形南部連絡道路(梨郷道路(仮)川西IC)など、高速交通ネットワークへのアクセス強化
- ・高次医療施設(公立置賜総合病院)へのアクセス性向上や物流の効率化
- ・置賜地域における地域間交流の活性化と地域産業の振興拡大



令和5年6月完成 米沢北バイパス「豊稔橋」

## 探求型の学習を通して地域課題の解決に挑戦！ 高校生マーケティングプロジェクト参加者募集中！

置賜総合支庁では、高校生がマーケティング等の実践的なスキルを学びながら地域課題の解決に取り組む「高校生マーケティングプロジェクト」の参加者を募集しています。今回のテーマは、地域住民の足として長年にわたり愛されている「フラワー長井線」。高校生のみなさん、一緒に挑戦してみませんか？

1. 実施期間  
令和5年7月～10月 (途中からの参加もOKです！)
2. 詳細・申込  
右の二次元コードからご確認ください。



■ 総務課連携支援室 ☎ 0238-26-6021

## 山形おきたま伝統野菜を使ったレシピを ご応募ください！

若者視点で置賜地域の元気創造に取り組んでいる「おきたま元気創造ラボ」では、「山形おきたま伝統野菜」のうち、「おかひじき」、「紅大豆」、「薄皮丸なす」のいずれかを使用した料理のレシピを募集中です。優秀なレシピをご応募いただいた方には賞品を用意しています。とっておきのレシピをご応募ください。

1. 募集期間  
令和5年8月1日(火)～10月31日(火)
2. 応募方法  
右の二次元コードからご応募ください。
3. その他  
審査の詳細は「募集チラシ」を御覧ください。

募集チラシ



応募フォーム

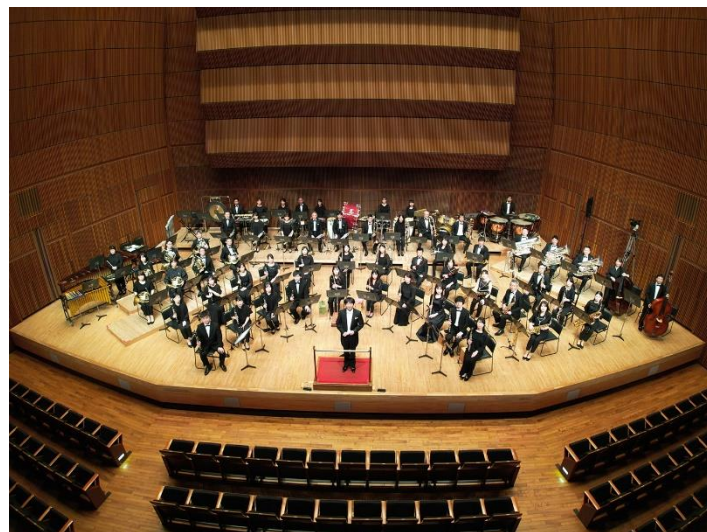


～PRO WiND 023 ブラボー！吹奏楽アンサンブル～

山形ゆかりの音楽家が集まる東北初のプロフェッショナル吹奏楽団「PRO WiND 023」が、置賜初の演奏会を開催します。木管・金管・打楽器によるスペシャルアンサンブルなど、吹奏楽の魅力をたっぷりお届けします。

奥深い管打楽器アンサンブルの世界を、ぜひご堪能ください！

- 日 時:9月3日(日) 15:00開演(14:30開場)
- 会 場:伝国の杜置賜文化ホール  
(米沢市丸の内1-2-1 TEL.0238-26-2666)
- 料 金:全席自由(定員500名)  
一般2,000円(伝国の杜ファンクラブ1,800円)  
高校生以下1,000円(伝国の杜ファンクラブ900円)  
※伝国の杜でチケット発売中
- 主 催:(公財)米沢上杉文化振興財団



■ 総務課連携支援室 ☎ 0238-26-6021

～廃棄物適正処理・3R推進ポスターを募集します！～

令和4年度最優秀賞

小学生の部  
「町をきれいに ポイ捨て禁止」  
川西町立中郡小学校  
6年 高橋美羽さん

中学生の部  
「3Rで地球を笑顔にしなければ」  
高島町立高島中学校  
3年 狩野祐輔さん

詳しい応募方法は  
こちら  
**HP**

環境課が事務局を務める置賜地区不法投棄防止対策協議会では、廃棄物の適正処理・3Rの普及啓発を目的として、置賜地域の小学4年生から中学3年生を対象にポスターコンクールを開催します。

優秀作品は、賞品を贈呈のうえ、不法投棄防止啓発のためのグッズや看板のデザインとして活用します。また、応募者全員に参加賞を進呈します。

9月1日(金)まで作品を募集していますので、奮ってご応募ください。

**3R(スリーアール)とは？**  
 Reduce(リデュース) :「ごみになるものを減らす」  
 Reuse(リユース) :「繰り返し使う」  
 Recycle(リサイクル) :「資源の再利用」  
 の3つの「R」の総称のこと。

■ 環境課 廃棄物対策担当 ☎ 0238-26-6034

フードドライブを実施します～食品ロス削減の取組み～

まだ食べられるのに廃棄される食品(食品ロス)の量は年間523万トンあり、国民一人当たり毎日おにぎり1個分(114g)の食品を捨てていることとなります(令和5年6月、農林水産省報道発表資料)。

置賜総合支庁では、食品ロス削減のため8月29日(火)に置賜総合支庁本庁舎、8月30日(水)に西置賜地域振興局にてフードドライブを実施します。

ご家庭で食べる予定がない未開封のレトルト食品やお菓子、調味料などで、1か月以上賞味期限が残っているものがありましたら、ぜひご提供ください。

集まった食品は、関係団体を通じて、食の支援を必要としている方に提供します。

■ 環境課 廃棄物対策担当 ☎ 0238-26-6034



**フードドライブとは？**  
 家庭で使う予定のない食品を集めて、フードバンク(支援を必要としている方に食品を提供する団体)等に提供する活動

健康を考える長月(9月)  
—9月は健康増進普及月間—



令和4年県民健康・栄養調査(速報版)によると、**山形県民は食塩摂取目標値より多く塩分を摂取し、野菜摂取量は1日の目標値の350gより約70g不足している状況です。**

肥満や生活習慣病などを予防し、健康な生活を維持するために、減塩+野菜摂取量増を目標に日々の食事を見直してみませんか。

塩の摂取を減らし、野菜料理をあと一皿追加することで健康な食事に一步近づけます。食事以外にも、運動習慣の定着や、禁煙チャレンジなど、自身でできそうなことに取り組んでみましょう。健康づくりは1日にして成らず。意識的に行動し、継続して取り組むことが健康づくりの秘訣です。



■保健企画課 健康長寿推進担当 ☎ 0238-22-3004

赤ちゃんほっと♥ステーションを  
開設しました

山形県では、赤ちゃんや小さなお子さんを連れたママ・パパが、外出先でも安心して『授乳』や『おむつ替え』ができるよう、要件を満たす施設を「赤ちゃんほっと♥ステーション」として、登録・周知する取組みを行っています。

そしてこの度、**置賜総合支庁が「赤ちゃんほっと♥ステーション」に登録されました。**

授乳やおむつ替えの際に利用いただけるお部屋は、置賜総合支庁本庁舎2階にあります。またミルク用のお湯が必要な場合は、2階総務課、もしくは1階子ども家庭支援課の職員にお声がけください。

お近くにお越しの際は、ぜひお気軽にご利用ください。



■総務課 ☎ 0238-26-6003

9月10日から16日は「自殺予防週間」です

置賜地域で令和3年に自殺で亡くなられた方は37人です。自殺の原因はひとつではなく、経済・生活・健康・家庭等の問題が複雑に絡み合っています。

自殺に至る直前、多くの方は「うつ病」等の精神疾患を発症していると言われ、病気により正しい判断ができない状態になっています。自殺予防のためには、“眠れない”、“憂うつだ”、“好きなことが楽しめない”など、心の不調のサインに早い段階で気づく必要があります。

**置賜保健所では、保健師の他に精神科医による相談も行っています。**ひとりで悩まず、まずはご相談ください。



■置賜保健所 地域保健福祉課 精神保健福祉担当 ☎ 0238-22-3015



夏の省エネの取組みについて  
「夏の省エネ・節電にチャレンジ」

山形県では、**家庭での省エネ・節電の取組みを報告すると素敵な賞品が当たる「家庭のカーボンニュートラルアクション」への参加を7月から受付中です(抽選は11月と2月に実施)。**

パンフレットは、各総合支庁ロビーに設置のほか、山形県地球温暖化防止活動推進センター(NPO法人環境ネットやまがた)のホームページからダウンロードできます。

夏は冷房器具の使用などにより、エネルギー消費量が増える時期です。毎日の生活の中で、冷房時の室温は28℃を目安にする、テレビを見ない時や不要な照明はこまめに消すなどの家庭での節電の取組みを始めてみませんか。

なお、この夏も新型コロナウイルス感染症予防のため、適度な換気を行いながらの適切な室温管理が必要となります。節電を行うときは、健康に配慮し、無理のない範囲での取組みをお願いします。

詳しくはこちらを  
チェック



■環境課 ☎ 0238-26-6035

©YOC